

令和3年9月10日

公益社団法人日本臨床工学技士会
会員 各位

公益社団法人日本臨床工学技士会
理事長 本間 崇

調査統計委員会
担当理事 五十嵐 茂幸



臨床工学技士の業務実態調査 2021 への協力について (依頼) 『コロナ禍、タスクシフトの中で自分たちの状況を伝えよう!』

拝啓

ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、当会の事業にご理解、ご協力を賜り有難うございます。

会員の皆様におかれましては、昨年からの新型コロナウイルス感染症の対応や当会の重要事案でありますタスク・シフト/シェアの検討において、多大なるご協力を頂き感謝申し上げます。

例年10月は『調査月間』です。「臨床工学技士に関する業務実態調査2021」を下記の日程で実施致しますので、会員皆様の一層のご支援・ご協力を賜ります様お願い致します。

さて今回実施される実態調査は行政機関への政策提言や関連団体との折衝に使用する根拠となります。皆様のご意見無くして根拠を示すことはできません。また医療の進歩・発展に伴い変革するCE業務への対応・制度再構築が必要であり、実態調査の結果を踏まえ、認定試験の創設や業務指針の改訂、さらには診療報酬・施設基準への全ての根拠となります。そのうえで回収率は、団体への協力の高さを示します。回収率が高いと偏りが無い、信憑性の高い結果となり、どの位の人が希望しているのかをアピールできます。

以上の事より、調査には会員の皆様お一人お一人のご協力が必要です。臨床工学技士の更なる資質の向上に向けて、是非ご自身のご意見・状況をお伝えください

敬具

記

1. 調査名：「臨床工学技士に関する業務実態調査2021」
2. 実施期間：2021年10月1日（金）～10月31日（日）
3. 対象：全正会員
4. 方法：会員情報システムe-プリバド

<https://www.ja-ces.or.jp/e-privado/e-privado-idpw/>

e-プリバドQRコードはこちら▶



以上